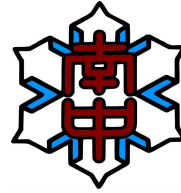


心の絆

No. 4



晴れやかな秋空と爽やかな風が、心地よい季節となりました。今年も以下のように冬服への移行期間を設定します。衣替えは、平安時代から始まった習慣だそうです。江戸時代からは旧暦の6月1日と10月1日に行うようになり、明治6年（1873年）からは太陽暦の6月1日から9月30日が夏服、10月1日から翌年5月31日が冬服と定められました。やがて、学生服や一般の人にも定着したそうです。

移行期間中は、天候や体調に合わせて夏服も冬服も着用することができます。身だしなみや交通安全についての生徒心得を再確認し、規律ある学校生活を送っていきましょう。

移行期間 9月25日（月）～10月31日（火） 11月1日（水）より全員冬服

決まりを守り、南部中学校の生徒らしく、**自覚と責任**ある行動をしよう！（生徒心得より）

身だしなみ 制服

○学生服タイプ

- ・制服は、日本被服工業組合の認定マーク付きの標準型学生服です。
- ・校章、組章（えり）、名札（胸ポケット）を付けましょう。
- ・白のソックス（ワンポイント可）を着用しましょう。
- ・学生服の下に着るものは、季節によってYシャツ、Tシャツ、トレーナー、セーター、ベスト等いずれでもよいが、色（白、黒、紺等が望ましい）や形は派手にならないようにしましょう。

○セーラー服タイプ

- ・制服は、紺のセーラー服（幅1cmの白線1本）、ひだスカート（ひざが隠れる程度の長さ）かスラックスを着用します。
- ・校章、組章、名札を付けましょう。（台布は、1辺5cmの正方形の紺又は黒のフェルトで作し、胸ポケットに付けましょう。）
- ・緑のネクタイ、白のソックス（ワンポイント可）または黒のタイツを着用しましょう。
- ・セーラー服のすそは、スカートやスラックスと十分重なる長さにし、うつぶいても背中が出ないようにしましょう。
- ・セーラー服の下に着るものは、Tシャツ、トレーナー、セーター、ベスト等いずれでもよいが、色（白、黒、紺等が望ましい）や形は派手にならないようにしましょう。

身だしなみ その他

- ・ウインドブレーカー、コート等のデザインは、中学生にふさわしい派手でない色や形のものにしましょう。
- ・雨天や積雪時には防水性のある外履きを履きましょう。
- ・スポーツウェア等は、派手でないリュック等を利用して持ち運びましょう。

交通安全 自転車の安全

- ・自転車に乗る場合は、安全のためにヘルメットを必ず着用しましょう。
- ・自転車通学者が、雨がっぱを着用する場合は、白または黄色とします。
- ・降雪時、積雪時、凍結時は自転車に乗ってはいけません。